

開催日時	令和7年10月17日(金) 19時00分～20時30分
開催場所	web
出席者	間瀬、木澤、小山、岩田、山本、熊谷、樋笠、山口、正木、井貫、桑山、藤、中谷、有吉、桑山、森沢 玉木、上野、中村、西原、岩井、小森、松本
欠席者	なし
記録者	松本
議題1	会長報告
【内容】	会長行動録(主なもの) 9月24日に神戸市の自民党との予算意見交換会が開催された。キュア神戸におけるリハビリモデルの継続と、地域包括支援センターへのリハ職種の配置と関わりの強化を主に要望した。 地域での理学療法士の活躍案(総合事業に対する活躍案)を作成するための第1回会議が10月初めに実施された。作成案を基に議論し、現状報告と問題点の抽出に終始した。今後はスモールグループで進め、理事会に報告予定。 協会60周年式典後、組織運営協議会に参加。産業保健・人間工学、母子保健、学校保健の新たなリーダー制度が来年度から本格的に動き出す予定。 登録理学療法士の取得および更新状況が「極端に悪い」(特に後期研修受講者は全体の2割程度)。協会は更新しやすいように変更案を検討中。 理学療法週間を、行事実施の困難さから「月間」として期間を長く設ける案が出ている。学会の演題登録システムが数千万円の更新費用により、翌々年から使用できなくなる可能性が示された。
議題2	審議事項(協議): 県下養成校連絡協議会代表者のLINE Worksへの登録について
項目	内容詳細 連絡効率化のため、養成校代表者をLINE Worksに登録したい。無料版のストレージ容量問題(30GB、3年間削除不可)を回避するため、養成校側で新たなアカウントを作成し、県士会と「外部連携」でやり取りする方針が提案された。 今後の対応 協議会側で新規アカウントを作成し、連携を取る方向で進めることが了承された。
議題3	審議事項: 日本理学療法士協会 協会賞候補の推薦について
項目	内容詳細 協会賞の候補者として堤先生(代議員6年)、小森先生(協会委員3年、代議員3年)を推薦。 堤先生、小森先生の推薦について、挙手により賛成多数で承認された。
議題4	審議事項: 第37回兵庫県理学療法学会大会予算案
項目	内容詳細 前回の理事会で指摘された会議費が盛り込まれた予算案である。会場費が安価なため、参加者650名試算で収支がトントンになる見込み。三役会からの要望により、予算案に含まれていた弁当代(2,000円)を県士会基準の1,000円を目安に修正することが条件とされた。 弁当代の修正を前提として、挙手により賛成多数で承認された。
議題5	協議事項: 来年度目標案、財務審議会からの報告
項目	内容詳細 2年後に重なる60周年記念事業と近畿学会の検討を目標に組み込んだ。60周年事業は、若い会員が参加しやすいよう、登録理学療法士の単位が取れる研修や講演を組み込んだ会とする案が出ている。 適切な会費の継続的な検討という言葉を盛り込んだ。新会費(8,500円)の適正を概ね2年間見て、その後の減額または継続を再検討する。 研修会はアーカイブの単位取得等を活用し、会員がよりポイントを取りやすい状況にしていこう。急性期におけるリハ栄養強化加算の推進や、回復期研修の生活期への拡大を検討する。 来年度予算は基本的に2025年度の実績(決算)資料情報提供の環境づくりを検討する。 2026年度から約2年間、新会費の適正を見て再検討を行うべきとの答申があった。 本日は決定しない。会長は来週中にLINE Worksで意見交換用のトークルームを作成し、理事からの意見を募った上で、11月の理事会で最終決定する方針を示した。
議題6	報告事項(補足事項)
項目	内容詳細 代議員・理事連絡会 11月中頃を目途に、現在11支部を対面またはウェブで巡回している。地域医療構想に関する研修会(講師: 広島大学病院 平田和彦先生)の開催予定。 リハビリテーション・ケア研究大会 9月27日に兵庫県看護協会ハーモニーホールで開催。テーマは「災害に備える地域づくり」。参加者は総勢34名、スタッフ・座長等含め75名で終了した。 第36回兵庫県理学療法学会 学術大会 参加登録状況 学術大会は今週の日曜日に開催。参加登録目標(790名)まであと3名の状況。他府県士会からの参加が非常に多く、参加費収入が多い。機器展示に20社が参加。 受賞報告 岩井監事が協会創立60周年記念式典において、厚生労働大臣賞を受賞したことが報告された。
次回の予定	日時: 11月21日理事会
日時・場所	場所: web
今後の予定	